



2018年10月21日(日)14時～16時、第58回「輪の和」コンサートを開催した。

会場：豊明市文化会館小ホール

- 協力：(株)サンデーフォークプロモーション、MC AZUSAさん。協力ありがとうございました。
- 協賛(株)ブルネエズ、にわほけん。応援ありがとうございました。
- 来場者150名余。当日募金は119,295円集まりました。みなさまありがとうございました。
- お花を贈ってくださったかた；社会福祉法人みすず会さま、(株)サウンドオンゲイさま、にわほけんさま、竹田嘉兵衛商店さま ●当日、にわほけんさまにお弁当の差し入れいただきました。
- 出演者：Oboe；堤 寛&Piano；堤 佐代子、Oboe；石田 正&Piano；伊藤真理子、尺八；岸本寿男&ピアノ；越智章仁、朗読；天野鎮雄。

ひとの輪、平和の和を広げる活動を続けてきた。2003年に藤田保健衛生大学病院内で患者会として任意団体「わかば会」スタートから15年。その後NPO法設立2008年から10年目を迎える。小さな活動から始まり、やっと目に見える形にはなった。しかし、世の中にある大きな組織や立派な活動は、たいいてい歴史が長い。私たちは人間の成長にたとえれば、15年とはやっとな高校生？成熟した大人になるにはまだ数年必要だ。活動は継続してこそ力がつく。まだまだこれからですね。輪の和コンサート100回開催を目指している。あと42回。1年に4回開催としても10年かかる。ひとつひとつ、一生懸命やろうと思う。みんなで感動し喜ぶのがいい。

ともに助け合う「共生の時代」とは、ひととひとが輪になり、平等に繋がることを指すのであると思う。

2014年8月9日長崎原爆の日長崎で平和を祈る音楽会を実施した。あるとき私は、長崎原爆資料館で、もと長崎大学学長、病理医の故・土山秀夫先生に1対1で1時間ほどお話ししていただいた。土山先生は私たちの活動にふれ、「音楽を楽しめるとは、平和そのものである」と、おっしゃった。音楽好きの土山先生は、戦時中音楽を聴くことすらままならなかったそうだ。その時から、私たちは「輪の和」コンサート実施を強い意志で継続しようと思うようになった。土山先生のその言葉の重み、意味、励ましに伝えたい。ひとの輪平和の和を大事にしたいと思うとき、土山先生のあのときの語り、被爆者の思いを1時間ちかく話して下さったことを思い出します。土山先生のお話は、私たちにとって忘れられない出来事となったのでした。

NPO法人ぴあサポートわかば会 <http://witness/info>

Email: peer345@outlook.jp お問い合わせ：090-9338-0638 (Sayoko)